

「ふるさとの誇りを胸に」

令和7年度ふるさと教育研修

2025/7/29

安来市立広瀬中学校

校区の様子

広瀬、布部、比田、山佐の4地区

豊かな自然

各地区に色濃く残る歴史・伝統・文化

少子高齢化

あたたかな地域の人々

生徒の様子

○素直で仲が良く、協力的

○指示されたことには誠実に取り組むが、やや主体性に欠ける

○地域行事への参加に意欲的

○ふるさとへの愛着がある

(県学力調査より「自分が住んでいる地域が好きである」

肯定的回答94%)

比田小学校
山佐小学校
布部小学校
広瀬小学校



令和7年度
生徒数 137人

ふるさとを愛し 人間性豊かに たくましく生きる

生徒の育成



「ふるさと広瀬とともに生きる人」

※ふるさと広瀬とともに生きる人とは、

- ・ 広瀬に住み、広瀬というフィールドで楽しむ人
- ・ 広瀬の伝統文化を守り伝える人
- ・ **どこで生活することになっても広瀬を思い、
広瀬に貢献できる人**

など

「ふるさと教育」 全体計画から

「総合的な学習の時間」を中心とした「ふるさと教育」の推進

目標

- ふるさとへの愛着と誇りをもち、地域や人との関わりを積極的に求めていく態度を培う。
- 地域に貢献しようとする意欲を持ち、住みよい社会を作ろうとする態度を培う。

取組の視点

- 地域の「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を、**全学年で一貫性のあるもの**にし、発達の段階に応じたふるさと教育の充実を図る。
- 学習の深まりを意識した取組となるよう、指導の充実を図る。
- 地域との協働による体験活動**をとおして、将来地域で活動しようとする意欲を喚起する。
- 地域の課題**に対応した取組の充実を図る。

「総合的な学習の時間」の
ふたつの柱

様々な人の生き方からふるさとの
これからを考える

ふるさと学習

生き方学習

ふるさとについて学ぶことを通して
自分の生き方考える

令和7年度
「総合的な
学習の時間」
単元イメージ図

1年
ふるさととの出会い
広瀬

2年
ふるさとの良さと課題
山佐

3年
ふるさとで働くということ
比田・布部

ふるさと学習



生き方学習

イメージ【探究的な学習の過程】

③整理・分析

④まとめ・表現

②情報の収集

①探究課題の設定



1年

2年

3年

ふるさと学習

広瀬地区の
伝統、文化
それに関わる
地域の人々

山佐地区の
伝統、文化
それに関わる
地域の人々

布部・比田地区の
伝統、文化
それに関わる
地域の人々

+

+

+

生き方学習

働く意義
今後の自分の
在り方

いろいろな進む道
卒業後の自分の
生き方

自己の将来
卒業後の進路

⋮

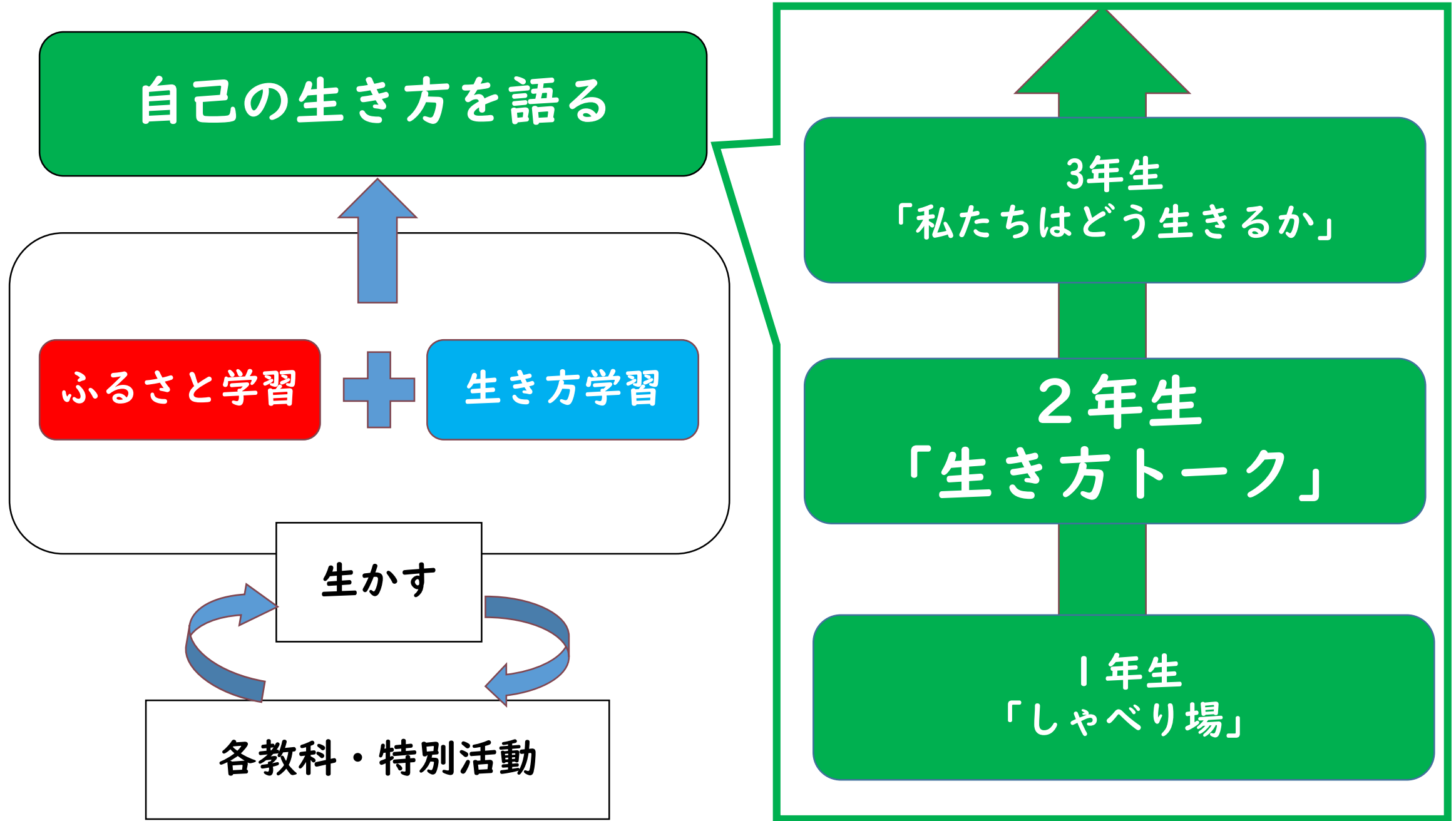
⋮

⋮

広瀬地区の伝統・文化、
それに関わる地域の
人々そして自分の未来

まちづくりの取組、地域
で働く人の仕事に取り組
む姿勢や生き方、自分に
できる地域との関わり

地域の事業所での体験、
ふるさとへの思い、将来
の自分の在り方



自己の生き方を語る

ふるさと学習



生き方学習

生かす

各教科・特別活動

3年生
「私たちはどう生きるか」

2年生
「生き方トーク」

1年生
「しゃべり場」

2年生 「生き方トーク」

単元計画

第1次

「対話を学ぶ」～「生き方トーク」に向けての準備
めあて「『対話力』を身につけよう。」

- ①「対話」ということを知る
- ②小グループでの対話の演習



「学びデザイン」代表 高橋椿太郎さんと3人の社会人の先輩から学ぶ



2年生
「生き方トーク」

第2次

「生き方トーク」

めあて「対話を通して、

地域の方の生き方やふるさとへの思いに触れ、
自分の生き方やあり方について考えよう。」

60人の地域の方との「対話」を通して学ぶ

テーマ

今、力を入れていること

ふるさとへの
「思い」

中学時代の
自分にひと言

中学生の
設定したテーマ

2年生
「生き方トーク」

生徒の司会進行

①アイスブレイク～たけのこニョッキ～

生徒会の企画



緊張気味だった表情も、
あっという間にほぐれて…
大成功！！

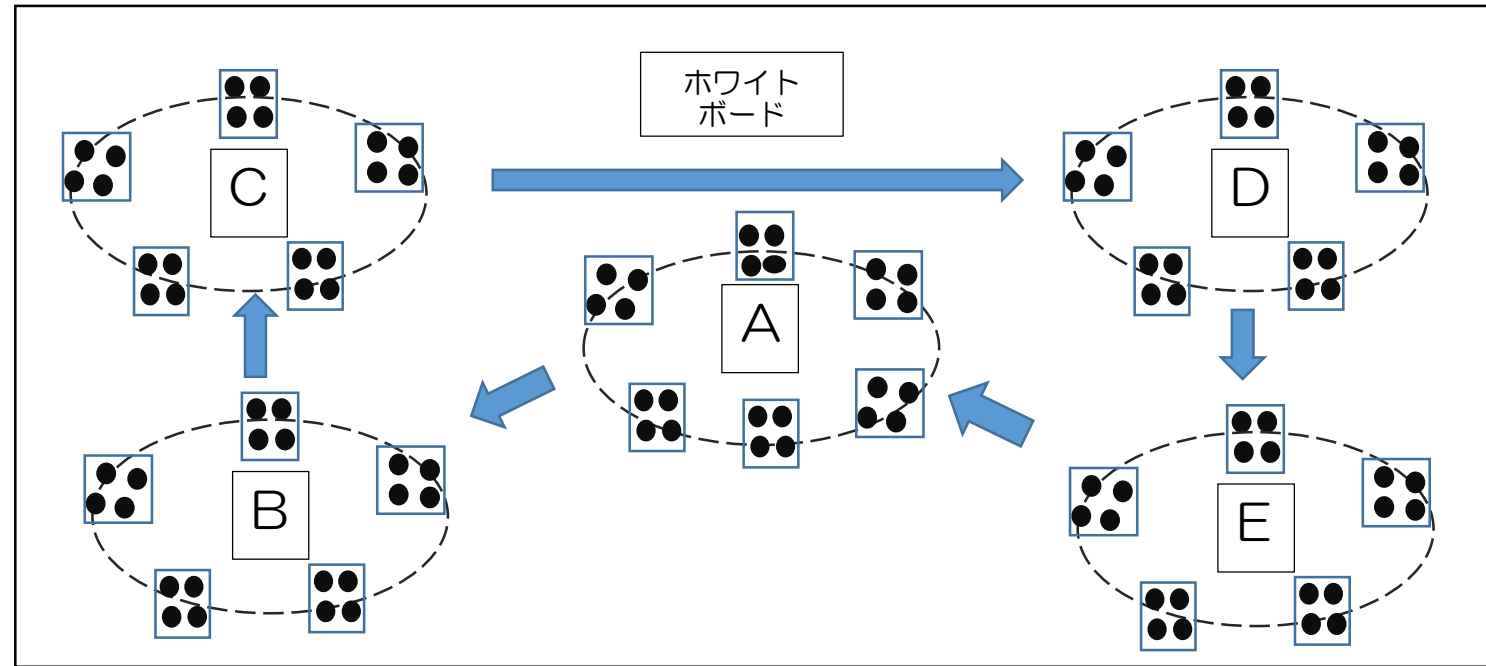


2年生 「生き方トーク」

まずは手作りの名刺の交換から



② 「生き方トーク」のスタート



5つのサークルで2対2の対話を3セット

地域の方に書いて
もらったテーマに
ついてのフリップ
を使って対話のス
タート



2年生 「生き方トーク」

テーマに沿ったトーク



身を乗り出して



話引き込まれ



笑顔があふれる



熱い語りに圧倒

ふるさとから出た
かったですか？

③ 「生き方トーク」

中学生が設定したテーマ

これからの広瀬は
どうなっていくと
思いますか？



Iターンして
来られたのは
なぜですか？



挑戦してよかったことは
どんなことですか？



2年生 「生き方トーク」

「布部に住んでいる方が、生きがいは、人と話したり、会ったり、地域行事に参加したりすることらしく、私も人と話したり、地域行事に参加したりすることが好きなので、一緒だなあと思いました。」

「いろいろな方と話してみて、『ふるさととは変わっていくもの』と考えている人が多いと思いました。ふるすとは安心できる場所、いつでも迎え入れてくれる場所であると同時に、人が増えたり減ったり、物や建物が増えたり、逆に減ったり、昔あったものが、今はなくなっていたり、いつも変わっていくもので、自分の中のふるすとは自分の中にしかないと言われたときは、いろいろと考えさせられました。」

「私が大切だなと思ったことがあります。自分の目標や将来の夢をもって、そのために、どんな過程で、どのように達成するかを考えることです。途中で目標とかが変わってもいいと言われて、まずは、私も過程を考えたいです。」

④感想発表とふりかえり

生徒から



生徒代表お礼の言葉

2年生 「生き方トーク」



④感想発表とふりかえり

地域の方から

「まず、自己紹介の名刺に感動しました。とても個性のある構図で作られていました。今回の授業にこれだけの皆さんが参加される事が広瀬の良さですね。生徒の皆さんが感じて**広瀬の地域性の中で巣立って、いずれ故郷に帰って来てほしいものです。**」

「生徒からの質問があって、よく聴いてくれているのだなと感じました。同時にいろいろと考えるきっかけになりました。生徒だけでなく地域の方々とも交流ができてよかったです。新しい出会いがあり、**人とのつながりの大切さを実感**しました。とても良い企画だと思います。とても楽しい時間を過ごさせていただきました。また交流の機会をいただけるとうれしいです。」

「話のキーワードが「ふるさと広瀬」で、自分自身もあたらためて想い、考え直すことができました。**中学生の世界はまだ「広瀬」**ですが、ふるさと広瀬を思いながら、**広い世界に向かって行って欲しい**と思いました。」





地域コーディネーター



広瀬中学校

地域

- 地域の方への呼びかけ
- 参加者への連絡調整
- テーマの相談
- 当日のオリエンテーション
- フリップの作成
- 地域の方の感想まとめ

ほか



学校評価より
R6生徒アンケート

質問項目	思う	
「社会や地域のためになることをしたいと思いますか。」	95.0%	
質問項目	できた	だいたいできた
「ふるさと学習を通じて、地域のことをよく知ることができましたか。」	81.2%	17.9%
質問項目	高まった	だいたい高まった
「ふるさと学習を通じて、地域を大切にしようとする気持ちが高まりましたか。」	76.7%	21.6%

地域行事への
参加の様子

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域行事やボランティア等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み広瀬交流センター事業への協力 ・比田プール清掃 ・広瀬地区バレーボール大会役員 ・平和の集い ・比田交流センター文化祭発表 ・西谷交流センター文化祭吹奏楽部演奏 ・戦国尼子フェスティバルへの参加 ・広瀬地区スポーツフェスティバル ・広瀬・伯太産業フェア 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会青年部「絆プロジェクト」 ・広瀬地区バレーボール大会役員 ・夏休み広瀬交流センター事業への協力（川遊び、お楽しみ会） ・え～ひだサマーフェスタ ・平和の集い ・比田交流センター文化祭発表 ・お城まつり ・広瀬・伯太産業フェア ・広瀬交流センター文化祭 ・広瀬おひな祭り飾りつけ ・広瀬おひな祭り商工会青年屋台ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬地区バレーボール大会役員 ・夏休み広瀬交流センター事業への協力 ・え～ひだサマーフェスタ ・お城まつり

「ふるさと広瀬とともに生きる人」



「ふるさとの誇りを胸に」

第12回少年の主張安来市大会

- グループ学習の基本KTK
- (K) 傾聴
 - ・身体の向き、正対
 - ・話を最後まで
 - (T) 対話
 - ・自分の考え
 - ・声の大きさ
 - (K) 協力
 - ・正しい形…机、資料
 - ・全員参加
- つながり 高め合う

Speaker at the podium

Audience member 1 (left)

Audience member 2 (middle)

Audience member 3 (right)

大すきひろせ

広瀬交流センター・広瀬公民館だより

216号 2025年 8月号

特別増刊号

令和7年度 広瀬中学校3年生職場体験特集号

7月2日～7月4日の3日間、広瀬中学校3年生の職場体験学習が行われました。今年も、生徒さんと一緒に事業所さんへ取材に行かせていただきました。各所で中学生が奮闘し活躍する様子の一部をお伝えします！



広瀬交流センターでの学習のポイントは「町の人とお話すること」でした。琴也くんの自己紹介に「インドア派」と書いていましたが、体験ではアウトドアで人との交流がメイン。取材用の写真機とメモ用紙を片手に、悪戦苦闘しながら苦手を克服し頑張りました。 館長 北尾 修

取材前には、事業所さんへ電話をかけ、取材の許可取り、日程調整などをしてもらいました。はじめは、相手の見えない電話でのやりとり緊張した様子でしたが、次第に緊張もほぐれ、とても丁寧な気持ちよい対応をしてくださいました。取材に出かけるほか、庁舎へ用務行ったり、母校である広瀬小学校へ行き成長ぶりに驚かれたり。交流センター内の雑用にも積極的に取り組んでくれ、職員も大助かりでした。さわやかな笑顔と挨拶に癒やされ、一生懸命な彼らの姿に元気をもらった3日間でした♪ 主事 喜多川・北脇

職場体験学習で学んだこと
広瀬中学校3年 夏目 琴也
僕は今回の職場体験学習で広瀬交流センターさんにお世話になりました。僕は交流センターのイベントには参加していましたが、他にどのような仕事をしているのか全く知りませんでした。しかし、今回の職場体験で交流センターの皆さんと一緒に働いて、交流センターについて深く知ることが出来ました。例えば、交流センターの皆さんは地域の方々と話す機会が多く、地域の方々と近いところで働いていたり、様々なところに取材などに行き広瀬の良さを発信したりするなどの「広瀬の町づくり」に深く関わっていると感じました。

僕はまだ将来の夢は決まっていませんでしたが、今回の職場体験学習を通して、交流センターのように自分の町づくりに関わっていけるような仕事に就きたいと思いました。このような貴重な体験が出来て僕はとても嬉しいです。職場体験学習で学んだことを忘れず、そして、将来に役立てるようにしていきたいです。

広瀬交流センターの皆さん、地域の皆さん、この度は本当にありがとうございました。

「職場体験学習で学んだこと」

僕は今回の職場体験学習で広瀬交流センターさんにお世話になりました。

僕は交流センターのイベントには参加していましたが、他にどのような仕事をしているのか全く知りませんでした。しかし、今回の職場体験で交流センターの皆さんと一緒に働いて、交流センターについて深く知ることが出来ました。例えば、交流センターの皆さんは地域の方々と話す機会が多く、地域の方々と近いところで働いていたり、様々なところに取材などに行き広瀬の良さを発信したりするなどの「広瀬の町づくり」に深く関わっていると感じました。

僕はまだ将来の夢は決まっていませんでしたが、今回の職場体験学習を通して、交流センターのように自分の町づくりに関わっていけるような仕事に就きたいと思いました。このような貴重な体験が出来て僕はとても嬉しいです。職場体験学習で学んだことを忘れず、そして、将来に役立てるようにしていきたいです。